

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 少人数クラスで多様な生徒が学ぶ夜間定時制の特性を生かし個々に目を向けた授業を実践するために、主体的・対話的な学びのある授業を展開して、生徒一人ひとりに対するきめ細やかな指導を行う。</p> <p>② ICTの活用等を通して個別最適化の学びを推進し、生徒の学習意欲を高め基礎学力の醸成を図る。</p>	<p>① 各々が基礎学力の向上を実感できるよう、個々の生徒の特性や習熟度に応じた主体的で対話的な授業を展開する。</p> <p>② ICTの活用を通して、生徒が意欲をもって学習に向かうことができるように学習環境を整備するとともに、常に授業改善に取り組む。</p>	<p>① 生徒の特性や習熟度に応じ、チームティーチングの配置や個別指導の実施等のさまざまな学習支援を行い、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようにする。</p> <p>② 教科指導例を蓄積・整理し、効果的な活用方法を探るとともに、研究授業や授業評価を活用して組織的な授業改善を推進する。</p>	<p>① チームティーチングや個別指導等を実施することによって、学習意欲の向上が見られたか。</p> <p>② 生徒による授業評価において、「授業で得た知識を用いて、自分自身の意見を持ったり、新しい問題に取り組んだりすることができたか。」などの項目で令和5年度よりも数値の改善が図られたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>① 共生教育の実現、より高い人権意識の醸成をし、外部機関との連携を図りながら組織的な支援体制を構築して、心身ともに健全な学校生活を送れるよう支援する。</p> <p>② 生徒が社会的職業的に自立し、社会で必要とされる人材となることができるよう、家庭との連携を図り自立を支援する。</p>	<p>① 外部機関との協力体制を充実させ、多様な生徒に対応できる相談体制を確立し、個々の生徒に適切な支援を行うことができるようにする。</p> <p>② 家庭との協力体制を構築し、互いに連携して、生徒が基本的な生活習慣を確立し自立した社会人となることのできるよう支援する。</p>	<p>① 新入生歓迎会や文化祭、体育祭等さまざまな行事に誰もが楽しく参加できるような手立てを考えさせる。</p> <p>① 研修会等により教職員が人権意識を高めるとともに、授業や学校行事、課外活動等を通して、他者に配慮した言動をとることができるよう生徒の意識を高める。</p> <p>① SCやSSW、地域の特別支援学校等の外部機関との連携を定期的に行い、的確な支援を行う。</p> <p>② 三者面談や家庭連絡を通して、保護者と情報共有を密に行い、生徒が基本的な生活習慣を身につけられるよう協力して取り組む。</p>	<p>① 学校行事への参加率が向上したか。</p> <p>① 職員向け研修会を実施し教職員の人権意識向上が図れたか。</p> <p>① サポートドックアンケートや各行事後の生徒アンケートから、教育活動の満足度等を把握し、改善が見られたか。</p> <p>① 相談支援を必要とする生徒に対し、的確な支援をおこなうことができたか。</p> <p>② 生活習慣を整える意識が高まり、年間で遅刻欠席の回数が令和5年度を下回ったか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<p>① 将来のイメージを明確化し主体的に準備して自己理解を深めて希望進路の実現ができるよう支援する。</p> <p>② 個々の生徒の進路実現に向け、一人ひとりのニーズに合わせた進路情報を提供し支援して、希望進路の実現に向けた主体的な姿勢を育むために、様々な経験をする機会を充実させる。</p>	<p>① 希望進路実現のため対話を通して自己理解の深化や将来のイメージの明確化を促す。</p> <p>② ハローワーク等の外部機関との連携を図り、各自に必要な進路情報を提供するとともに、進路行事等を通して生徒が主体的に自己理解を進められるよう支援する。</p>	<p>① 生徒が自分の将来のイメージを具体化できるよう、生徒との対話を通じて自己理解を深めさせ、主体的に進路実現に向けた行動を進められるようにしていく。</p> <p>② ハローワークによるセミナー等の進路別ガイダンスを実施し、生徒自身が希望進路の実現のために自ら考え行動できるよう支援する。</p>	<p>① 生徒が自分の適性と進路先を理解し、自分の希望進路に結びつけることができたか。</p> <p>② 進路別ガイダンス等の実施によって、より早い段階で生徒が自分の進路希望について具体的に考えられるようになったか。</p>					
4 地域等との協働	<p>① 生徒の社会的自立を促し社会性の向上を図るため、地域の教育力を活かすなど協働の機会を増やし、地域に開かれた魅力ある学校をめざす。</p> <p>② 広報活動を継続的に実施し、積極的に外部へ定時制の魅力を発信する。</p>	<p>① 地域との交流や協働の機会を増やし、生徒の社会性の向上を図るとともに、地域貢献の意識を醸成する。</p> <p>② 学校HP等を継続的に活用して情報をスピーディーに発信することで、学校の魅力を外部にPRするとともに開かれた学校づくりをめざす。</p>	<p>① 学校運営協議会の意見やPTAの方々の意見を地域貢献活動や文化祭の内容に活かし、地域との交流や協働の機会を増やすことにより、生徒に地域社会の一員としての意識を持たせる。</p> <p>② 学校HP等により、継続して敏速に有用な情報を掲載し、保護者や地域に学校の情報や魅力を発信していく。</p>	<p>① 行事毎の事後アンケートで、地域社会の一員としての自覚に関する項目の回答がよりよくなったか。</p> <p>② 活動や行事毎にHPを更新できたか。</p> <p>③ 学校説明会等において、本校の特色や魅力をPRすることができたか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>① 組織的に教職員の教育公務員としての意識向上を図り、職場内でのチェック体制を強化する。</p> <p>② 多様な主体との連携・協働を図り生徒が防災教育に主体的に取り組むとともに、教職員の防災に対する知識を高め、意識の醸成を図る。</p>	<p>① 教職員の教育公務員としての意識向上を図り、常に不祥事防止に対する意識を持つよう組織的にあたる。</p> <p>② 近隣自治体や消防署と連携・協働した防災教育の仕組みづくりを検討する。</p>	<p>① 様々な場面を想定した不祥事防止研修会を定期的に行い、不祥事防止に対する意識を高め相互チェック体制を強化する。</p> <p>② 近隣自治体や消防署と連携した防災訓練を行うとともに、DIG訓練を通して生徒が地域の防災活動や危険個所について学び、自主防災意識を高め災害時に必要な能力を身に付けることができるようにする。</p>	<p>① 不祥事防止研修会に当事者意識を持って参加し、相互チェック体制が確立できたか。</p> <p>② 近隣自治体や消防署との防災活動において、敏速な連携が取れ適切な防災活動ができたか。また、DIG訓練を通して地域の防災活動や危険個所について学び、教職員や生徒の役割を確認できたか。</p>					